

管理職強化



# 問題解決と意思決定

問題の本質見極め | 論理的思考・意思決定プロセス

実施時間

最小: 40分～  
推奨: 4時間程度

実施形式

オンライン / 対面 / ハイブリッド /  
LMS / eラーニング

対象者

管理職 / リーダー候補

試作版です。掲載・カスタマイズに関するご相談はお気軽にどうぞ。

# 講座概要 / 対応可能形式

## 講座概要

問題の本質見極め | 論理的思考・意思決定プロセス

### 対応可能形式

- オンライン
- 対面
- ハイブリッド
- LMS / eラーニング

### カスタマイズ可能項目

- 対象者・階層に応じた内容調整
- 研修時間（実施時間からの拡張・短縮）
- 実施形式（オンライン / 対面 / ハイブリッド）
- 業界別ユースケースの差し替え
- 社内ルール・既存制度への反映
- 演習データ・事例の差し替え

### 受講環境

- オンラインツール: Zoom / Google Workspace
- PC（カメラ・マイクが利用できる環境を推奨）
- 詳細な受講環境は実案件のヒアリング後に調整します。

上記は講師として対応可能な共通条件です。講座個別の確定仕様ではなく、実案件ではヒアリング後に調整します。



# カリキュラム概要

## Unit 1

### 問題の本質を見極める（ロジカルシンキング）

詳細カリキュラム: [後続ページに掲載](#)

## Unit 2

### 論理的思考とフレームワーク活用

詳細カリキュラム: [後続ページに掲載](#)

## Unit 3

### 意思決定のプロセスとバイアスの排除

詳細カリキュラム: [後続ページに掲載](#)

## Unit 4

### 実行と検証のサイクル（PDCA）

詳細カリキュラム: [後続ページに掲載](#)

本ページは各ユニットの見出しのみを掲載しています。ユニットごとの全項目は後続の「詳細カリキュラム Unit X」ページに掲載しています。実施時間・対象者・演習内容は実案件のヒアリング後に調整します。

# 詳細カリキュラム Unit 1

---

## 問題の本質を見極める（ロジカルシンキング）

---

- ・ 問題解決の出発点：「何が問題か」を見極める
- ・ 「問題」と「課題」の違い：現状と理想のギャップ
- ・ 脳科学の「問題認識」：正しく認識しないと解決できない
- ・ 問題の3タイプ：発生型・探索型・設定型
- ・ 発生型：起きてしまった問題（トラブル対応）
- ・ 探索型：もっと良くする問題（改善・効率化）
- ・ 設定型：あるべき姿を作る問題（新規事業・変革）
- ・ 心理学の「問題の枠組み」：捉え方で解決策が変わる
- ・ ロジカルシンキングとは：筋道を立てて考える技術
- ・ Why（なぜ）を5回繰り返す：トヨタ式
- ・ 表面的な原因ではなく「真因」を探る
- ・ ロジックツリー：問題を分解する
- ・ Whyツリー：原因を掘り下げる
- ・ Whatツリー：要素を分解する
- ・ Howツリー：解決策を広げる
- ・ 行動経済学の「因果の錯覚」：相関を因果と勘違いしない
- ・ MECE：モレなくダブリなく
- ・ So What?（だから何?）：結論を導く
- ・ Why So?（なぜそう言える?）：根拠を確認
- ・ 脳科学の「批判的思考」：鵜呑みにしない習慣
- ・ 仮説思考：「おそらく〇〇ではないか」と仮説を立てる
- ・ 実践ワーク：職場の問題を1つロジックツリーで分解しよう

# 詳細カリキュラム Unit 2

## 論理的思考とフレームワーク活用

- ・ フレームワークとは：思考の型・問題解決の道具
- ・ 脳科学の「認知負荷軽減」：型があると考えやすい
- ・ 3C分析：市場・競合・自社を見る
- ・ Customer（市場・顧客）：ニーズは何か
- ・ Competitor（競合）：他社は何をしているか
- ・ Company（自社）：自社の強みは何か
- ・ SWOT分析：内部・外部環境を整理
- ・ S：強み（Strength）
- ・ W：弱み（Weakness）
- ・ O：機会（Opportunity）
- ・ T：脅威（Threat）
- ・ クロスSWOT：強み×機会で戦略を作る
- ・ 心理学の「ポジティブ・ネガティブバランス」：両面から見る
- ・ 4P分析：マーケティングの基本
- ・ Product・Price・Place・Promotion
- ・ PEST分析：マクロ環境を読む
- ・ Politics・Economy・Society・Technology
- ・ バリューチェーン分析：価値の連鎖を見る
- ・ As-Is / To-Be分析：現状と理想のギャップ
- ・ 行動経済学の「アンカリング」：最初の枠組みに引きずられる
- ・ フレームワークの使い分け：目的に応じて選ぶ
- ・ 「万能」はない：組み合わせで使う
- ・ 脳科学の「パターン認識」：型を覚えると応用できる
- ・ 実践ワーク：自部門をSWOT分析してみよう

Excel「計画書ver2」G列のライドタイトルをもとに掲載しています。実施時間・対象者・演習内容は、ヒアリング後に調整します。

# 詳細カリキュラム Unit 3

## 意思決定のプロセスとバイアスの排除

- ・ 意思決定とは：複数の選択肢から1つを選ぶこと
  - ・ 脳科学の「決断疲れ」：選択が多いと疲れる
  - ・ 意思決定の4ステップ：認識→分析→選択→実行
  - ・ ステップ1：問題認識（何を決めるのか）
  - ・ ステップ2：情報収集・分析（データを集める）
  - ・ ステップ3：選択肢の評価（メリット・デメリット）
  - ・ ステップ4：決定と実行（覚悟を決める）
  - ・ 心理学の「決断の質」：速さより正確さ
  - ・ 意思決定のマトリクス：評価基準×選択肢
  - ・ 評価基準を決める：コスト・時間・効果・リスク
  - ・ 点数化して客観的に判断
  - ・ 認知バイアスとは：無意識の思考の歪み
  - ・ 10の認知バイアス：意思決定を歪める罠
- ・ 1. 確証バイアス：見たいものだけ見る
  - ・ 2. アンカリング：最初の情報に引きずられる
  - ・ 3. 現状維持バイアス：変化を避ける
  - ・ 4. サunkコストの誤謬：過去の投資を惜しむ
  - ・ 5. 楽観バイアス：「自分は大丈夫」と思う
  - ・ 6. 集団思考：みんなに合わせる
  - ・ 7. 利用可能性ヒューリスティック：思い出しやすいことを重視
  - ・ 8. ハロー効果：1つの特徴で全体を判断
  - ・ 9. フレーミング効果：言い方で判断が変わる
  - ・ 10. 後知恵バイアス：「知っていた」と思う
  - ・ 行動経済学の「バイアスの自覚」：気づくことが第一歩
  - ・ バイアスを防ぐ3つの方法：データ・複数視点・時間
  - ・ 実践ワーク：最近の意思決定でバイアスがなかったか振り返ろう

Excel「計画書ver2」G列のライドタイトルをもとに掲載しています。実施時間・対象者・演習内容は、ヒアリング後に調整します。

# 詳細カリキュラム Unit 4

## 実行と検証のサイクル (PDCA)

- ・ PDCAサイクルとは：計画→実行→評価→改善
- ・ デミングサイクル：継続的改善の基本
- ・ 脳科学の「学習のサイクル」：繰り返しが成長を生む
- ・ P (Plan) : 計画を立てる
- ・ 目標・方法・期限・担当を明確に
- ・ SMARTゴール：具体的・測定可能・達成可能・関連性・期限
- ・ D (Do) : 実行する
- ・ 計画通りに進める・記録を取る
- ・ C (Check) : 評価する
- ・ 結果を測定・目標と比較・原因を分析
- ・ A (Act) : 改善する
- ・ うまくいった→標準化／うまくいかなかった→改善
- ・ 心理学の「フィードバックループ」：振り返りが次を変える
- ・ PDCAが回らない3つの理由
- ・ 理由1：Pで終わる（計画倒れ）
- ・ 理由2：Cをしない（振り返りなし）
- ・ 理由3：Aをしない（改善しない）
- ・ 行動経済学の「現在バイアス」：振り返りは後回しにされる
- ・ 小さく早く回す：1週間単位のPDCA
- ・ 大きな計画より小さな改善の積み重ね
- ・ OODA vs PDCA：状況に応じた使い分け
- ・ OODA：観察→状況判断→意思決定→行動（スピード重視）
- ・ PDCA：計画重視・継続改善
- ・ 脳科学の「習慣化」：PDCAを仕組みにする
- ・ チームでPDCAを回す：全員で振り返り
- ・ 実践ワーク：今月の業務でPDCAを回してみよう

Excel「計画書ver2」G列のスライドタイトルをもとに掲載しています。実施時間・対象者・演習内容は、ヒアリング後に調整します。

# ユニット一覧

## UNIT 1 問題の本質を見極める（ロジカルシンキング）

- 問題解決の出発点：「何が問題か」を見極める
- ロジックツリー：問題を分解する
- 仮説思考：「おそらく〇〇ではないか」と仮説を立てる

## UNIT 2 論理的思考とフレームワーク活用

- フレームワークとは：思考の型・問題解決の道具
- 心理学の「ポジティブ・ネガティブバランス」：両面から見る
- 脳科学の「パターン認識」：型を覚えると応用できる

## UNIT 3 意思決定のプロセスとバイアスの排除

- 意思決定とは：複数の選択肢から1つを選ぶこと
- 1. 確証バイアス：見たいものだけ見る
- バイアスを防ぐ3つの方法：データ・複数視点・時間

## UNIT 4 実行と検証のサイクル（PDCA）

- PDCAサイクルとは：計画→実行→評価→改善
- PDCAが回らない3つの理由
- チームでPDCAを回す：全員で振り返り



# 研修スタイル / 講師 / 相談

## 講師として対応可能な範囲

実施形式: オンライン / 対面 / ハイブリッド / LMS / eラーニング 最小実施: 40分～（要点を絞った導入構成） 推奨実施: 4時間程度（1ユニット1時間目安／詳細カリキュラム・演習を含む構成）（カスタマイズ相談例）・ 対象者・階層に応じた内容調整・ 研修時間（実施時間からの拡張・短縮）・ 実施形式（オンライン / 対面 / ハイブリッド）・ 業界別ユースケースの差し替え・ 社内ルール・既存制度への反映・ 演習データ・事例の差し替え（実施前ヒアリングで調整する項目）・ 対象者の階層／前提知識・ 受講環境・ 配信ツール・ 演習データ・ 社内固有事例の差し替え※ 本資料はカリキュラム設計例です。最小実施では要点を絞って扱い、詳細カリキュラム・演習を含む場合は、1ユニット1時間を目安に、対象者・目的・実施形式に応じて時間配分を調整します。

## 講師プロフィール

氏名: 準備中 経歴サマリ: 準備中 強み: 準備中 登壇可能講座: 52 件 / 13 カテゴリ

**この講座をベースに、貴社向けカスタマイズをご相談いただけます。**

お問い合わせ／カスタマイズ相談はサイトのお問い合わせ欄からご連絡ください。